

# JIS

## 火山性ガラス質複層板（VS ボード）

JIS A 5440 : 2026

（火山性ガラス質材料工業会/JSA）

令和 8 年 2 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

（日本規格協会 発行）

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小山 明 男	明治大学
(委員)	稲葉 佳 彦	独立行政法人住宅金融支援機構
	太田 啓 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式会社)
	鹿毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	加藤 徳 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	木村 たま代	主婦連合会
	古賀 純 子	芝浦工業大学
	興石 直 幸	一般社団法人日本建築学会 (早稲田大学)
	高橋 幹 雄	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社竹中工務店)
	高橋 光 明	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	永井 香 織	日本大学
	萩原 伸 治	一般財団法人建材試験センター
	花島 完 治	断熱・保温規格協議会
	吉田 可保里	T&T パートナース法律事務所

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 12.12.20 改正：令和 8.2.20

官 報 掲 載 日：令和 8.2.20

原 案 作 成 者：火山性ガラス質材料工業会

(〒101-8950 東京都千代田区外神田 3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 大建工業内 TEL 03-6271-7832)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 田辺 新一)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 小山 明男)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	3
5 寸法及び許容差	3
6 品質	4
6.1 外観	4
6.2 性能	4
7 試験方法	6
7.1 試験の一般条件	6
7.2 試験片	6
7.3 寸法の測定	7
7.4 密度測定	8
7.5 曲げ強度試験	8
7.6 吸水試験	8
7.7 寸法安定性試験	8
7.8 難燃性試験又は発熱性試験	9
7.9 透湿性試験	9
7.10 平面剝離強度試験	9
7.11 ホルムアルデヒド放散量試験	10
7.12 耐衝撃性試験	10
7.13 耐酸性試験	11
7.14 耐アルカリ性試験	11
7.15 耐変退色性試験	11
7.16 吸放湿性試験	12
8 製品の呼び方	12
9 検査方法	12
9.1 検査の種類及び検査項目	12
9.2 判定基準	13
10 表示	13
附属書 A (規定) 発熱性試験方法及び評価方法	14
附属書 B (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	20
解 説	27

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、火山性ガラス質材料工業会及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 5440:2024** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

## 火山性ガラス質複層板 (VS ボード)

## Volcanic silicates fiber reinforced multi-layer board

## 1 適用範囲

この規格は、主として建築物の化粧材、内外壁下地、床下地、屋根下地、型枠などに用いる建築用ボードで、主な使用原料として火山性ガラス質堆積物（シラス、白土、軽石など）の粒体及びそれらの発泡体を、無機粉体（フライアッシュ、炭酸カルシウム、水酸化アルミニウムなど）及び JIS A 9504 に規定する人造鉱物繊維保温材と複合し、有機系結合材によって層状に成形した製品（以下、VS ボードという。）について規定する。

なお、技術上重要な改正に関する旧規格との対照を、**附属書 B** に記載する。

## 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1321 建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法

JIS A 1324 建築材料の透湿性測定方法

JIS A 1408 建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法

JIS A 1415 高分子系建築材料の実験室光源による暴露試験方法

JIS A 1460 建築用ボード類のホルムアルデヒド放散量の試験方法—デシケーター法

JIS A 1470-1 建築材料の吸放湿性試験方法—第1部：湿度応答法

JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS B 7516 金属製直尺

JIS K 7101 着色プラスチック材料のガラスを透過した日光に対する色堅ろう度試験方法

JIS K 8355 酢酸（試薬）

JIS K 8624 炭酸ナトリウム十水和物（試薬）

JIS K 8625 炭酸ナトリウム（試薬）

JIS K 8886 無水酢酸（試薬）

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

JIS Z 8781-4 測色—第4部：CIE 1976  $L^*a^*b^*$ 色空間